

「屋仁小学校の島唄・島口・八月踊り・棒踊り伝承活動の取組」

1 学校名

奄美市立屋仁小学校

2 学年・人数

1年生から6年生（計15人）

3 日時・場所

(1) 練習の日時・場所

【島唄・島口・八月踊り】

令和5年4月～令和6年3月 総合的な学習の時間
(本校ふれあいホール・体育館)

【屋仁棒踊り】

令和5年8月～10月 放課後（本校校庭）

(2) 発表の日時・場所

島唄・島口・八月踊り】

令和5年11月4日（土） 学習発表会（本校体育館）

令和6年3月22日（金） 卒業式（本校体育館）

【屋仁棒踊り】

令和5年10月1日（日） 小学校運動会（本校校庭）

4 伝承・活用に取り組んでいる郷土芸能、伝統行事について

(1) 名称

島唄・島口・八月踊り（しまうた・しまぐち・はちがつおどり）

屋仁棒踊り（やにぼうおどり）

(2) 由来

島唄・島口・八月踊り…古来より集落に伝承されてきた独自の唄や方言・踊りである。

屋仁棒踊り…現在より140年ほど前に、屋仁小学校の校舎移転があった。その際川内より大工が10人ほど来島し、屋仁の人々と協力して立派な校舎を作り上げた。落成記念として大工たちが川内に伝わる棒踊りを披露し、それに感銘を受けた住民たちが伝承させたと伝えられている。

(3) 構成等

島唄・島口・八月踊り…三味線とチヂン（手持ちの太鼓）を用いて、シマグチの歌詞を唄う。代表的な唄に「朝花節」「いきゅんにゃ加那」がある。八月踊りは男女に分かれ、交互に歌いながら輪になって踊る。

屋仁棒踊り…低学年は太鼓に合わせて唄を歌い、高学年や中・高校生はそれに合わせて四人一組で2列の隊列を組み、掛け声をかけながら棒踊りを行う。唄の歌詞は落成の慶祝や風光明媚さの賛美を表している。

5 保存会や地域との連携の具体

島唄・島口・八月踊り…総合的な学習の時間に月に1～2回、地域の方を講師にお招きして三味線と島唄・シマグチ・八月踊りを学習している。校内では

学習発表会や卒業式で発表するが、ウミガメ保護活動内でウミガメを海に放流するときには三味線や島唄で送り出している。

屋仁棒踊り… 9月に地域子ども会やスポーツ指導員と連携をとり、練習時間を設定している。本年度は運動会で発表した。かつては敬老会等でも披露していた。

6 文化財伝承・活用の取組の工夫した点

感染症拡大防止の経験を踏まえ、本年度の気象状況や地域行事との兼ね合いも考えながら、児童の健康の維持に留意しながら伝承及び活動を続けていくことができた。今後も形態を工夫しながら、活動の主体や目的を明らかにしつつ学校だけ、地域だけでない持続可能な体制づくりをしていきたい。

7 取組の様子（練習状況、発表の場等）



練習の様子



運動会での棒踊り発表



学習発表会での島唄発表

8 参加児童生徒・保護者・保存会・教職員等の感想・意見

【4年生児童】

八月踊りでは、私がチヂンをたたく係になりました。たたき方やリズムがとても難しいけど大事な役目なのでしっかりとやっていきたいと思います。

【教職員】

総合的な学習の時間に地域の講師を、放課後での練習で子ども会やスポーツ推進員との連携をとってきた。放課後の練習にも保護者がたくさん参加したり、発表の場で年齢関係なく地域・学校・保護者が楽しめたりするのを見てしっかり伝承することの大切さを感じた。

【地域の方から】

- ・ 今年度は地域行事も復活し、子供たちの出番が非常に多かったです。運動会や学習発表会で元気に発表する姿を見てこちらも元気をもらいました。ありがとうございました。
- ・ 学習発表会で子供たちが三味線を一生懸命弾いて歌っているのを見てとても良いと思いました。